

# ファミリーサポートセンター開設

## 子育て支援の充実を図る

町民建設経済

**A** 信州ひすいそばは、長野県産ブランドとして確立させるため県が力を入れている品種である。町としては、県の補助金対象品種である信州ひすいそばを推奨したいが、半径2km以内他にそばがあると交配してしまい、栽培箇所が限られてしまう。

町全体で作る状況でないと難しいので、現在は「信濃1号」と昨年から力を入れている「韃靼そば」での普及を考えている。

信州ひすいそばの普及に向けては、近隣市町との兼ね合いもあるため、打ち合わせをして歩調を合わせていきたいと考えている。

**A** 子どもの預かりをしてほしい依頼者と子育ての援助をしたい援助者がそれぞれ会員登録をし、会員同士が子育てに関する相互援助活動を行なうほか、保護者の仕事と育児が両立できる環境の整備など、地域住民が子育て支援へ参画し、児童の福祉向上を図ることを目的としている。

主な支援としては、保護者の仕事、病気や急用等に対応するための保育園・塾の送り迎えや放課後の預かり、冠婚葬祭時の預かりをするもので、小学生までを対象としている。

社協で24年・25年度に援助会員の研修を行ない、現在33名が援助会員登録しており、依頼会員登録は5名である。

**平成26年度補正予算**  
ファミリーサポートセンターのほのぼのなもののか



雪捨て場となったやまゆりグラウンド

**A** 味工房と大豆確保の話をしてきたが、今年度より町内で大豆を作ってもらえる方が見つかったので、契約を結んで今年度より町内産の大豆で味噌が作れるようになったところである。なお、次年度より県の補助金対象品種を作るようにしていきたい。

2月の大雪で町営グラウンドが雪捨て場となり、原状回復に大金が使われたが、グラウンド以外で雪捨て場の検討はされているのか。

**A** 後で支障の出ない雪捨て場について、現在選定作業を行なっているので、予定地決定後、議会に報告書を提出する予定である。

# 法人町民税引き下げ

## 新規事業者の増加を期待

総務福祉文教

**御代田町町税条例の一部改正**  
町税の法人町民税を13・5%から10・9%に変更する内容だが、施行時期と影響は

**A** 法律は今年の10月1日から適用になるので10月1日から来年の9月30日までの事業年度の会社が申告するのは2カ月後ということで平成27年11月末になり、そのような法人から新しい税率が適用されることになる。

御代田町の場合、4月から3月までの申告法人が多いので平成26年度と平成27年度については、それ程税率の影響はなく、実際に大きく変わってくるのは平成28年度からになる。

**御代田町行政財産の目的外使用に関する条例**  
改めてこの条例ができるというのだが、電柱等は、どのような対応をしていたのか

**A** 電柱は、「御代田町道路等占有料徴収条例」を準用して対応しており、ここにあてはまらないものは、その都度協議して使用料等を定めていた。

**第8条(過料)** 5万円の算出根拠と、財産を貸してそれを使った人が、物件等に大きなダメージを与えた場合、1・2万円では元にもとせない場合、5万円という数字は適当か

**A** 詐欺不正行為に対する過料で設定しており、たとえば100円の賃料でも免れようとした場合でも5万円まで過料が科せられるということで設定している。

また損害を受けた場合は、第7条の賠償責任でうたっている、壊れたら元にもどすか相当額をいたたくということになる。

**平成26年度補正予算**  
スプリングラー整備事業交付金の老人ホーム「ひまわり」とはこの場所か。また国庫補助の項目は

**A** 西軽井沢の越生学園グラウンドの西側にあり、平成22年12月に改修された施設で木造2階建て171mの施設である。世代間交流センターを建てる補助金と同様で「地域介護福祉空間整備等施設整備交付金」である。

**消火栓の標識ポール、2年間で250基設置をするとのことだが、今年度はこの地域に設置予定か**

**A** 全体的にみて平均しながら設置する予定である。住宅の多いところから設置していきたい。



味噌の味工房では大豆確保に苦労しているようだが、町内産大豆はどのような状況なのか

**A** 味工房と大豆確保の話をしてきたが、今年度より町内で大豆を作ってもらえる方が見つかったので、契約を結んで今年度より町内産の大豆で味噌が作れるようになったところである。なお、次年度より県の補助金対象品種を作るようにしていきたい。